

# 紙芝居で楽しむ文学

～平成29年度「大人のための紙芝居」～

2018年3月18日(日)14:00から90分程度  
※事前申込不要。参加無料。

主催:群馬県立土屋文明記念文学館

上演:県立文学館「おはなしのへやボランティア」の皆さん

会場:県立文学館2階研修室1・2

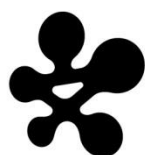
紙芝居は、子どもだけのためのもではなく、大人が見ても楽しめる作品、大人が見た方が楽しめる作品もたくさんあります。

古典文学や名作文学、文学者をテーマにした紙芝居を紹介した平成26年度の「紙芝居で楽しむ文学」に続き、今回は明治時代(1868-1911)の文学作品をもとにした紙芝居を集めました。伊藤左千夫、夏目漱石、幸田露伴、樋口一葉、泉鏡花などの作品を、紙芝居をとおして見つめ直してみませんか？

- ① 『(小泉八雲の)雪女』(10画面) ラフカディオ・ハーン(1850-1904)原作  
田部隆次訳、川尻亜美文、白鳥みちこ画 (紫織屋、2014.4.1 初刷)  
上演:水出真弓氏(紙芝居だいすきプロジェクト 紙芝居のたね)
- ② 『五重塔』(11画面) 幸田露伴(1867-1947)原作 新聞『国会』明治25年(1892)  
川尻亜美文、坪田伸一画 (紫織屋、2011.6.1 初刷) 上演:片亀歳晴氏(ヨボ読ボの会)
- ③ 『大つごもり』(11画面) 樋口一葉(1872-1896)原作 雑誌『文學界』明治27年(1894)  
川尻亜美文、上村恭子画 (紫織屋、2010.11.1 初刷) 上演:莓ばたけ
- ④ 『高野聖』(11画面) 泉鏡花(1873-1939)原作 雑誌『新小説』明治33年(1900)  
川尻亜美文、上村恭子画 (紫織屋、2015.6.1 初刷) 上演:小林知子氏(ひまわり)
- ⑤ 『野菊の墓』(10画面) 伊藤左千夫(1864-1913)原作 雑誌『ホトギス』明治39年(1906)  
川尻亜美文、かどた和之画 (紫織屋、2011.6.1 初刷) 上演:田子智代氏(たこさんのおはなしや)
- ⑥ 『夢十夜[第1・6・9夜]』(11画面) 夏目漱石(1867-1916)原作 『朝日新聞』明治41年(1908)  
川尻亜美文、かどた和之画 (紫織屋、2010.11.1 初刷) 上演:信澤淳一氏(群馬県紙芝居研究会)

群馬県立土屋文明記念文学館

〒370-3533 高崎市保渡田町2000 電話 027-373-7721



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature in Commemoration of Bunmei Tsuchiya

2017/12